

# 藤田病院だより

年4回(2月・5月・8月・11月)発行予定

 発行／編集：公立藤田総合病院 住所：伊達郡国見町大字塚野目字三本木14 TEL 024-585-2121 <http://www.fujita-hp.jp/>


中学生職場体験

## も く じ

- p. 2 伊達中学校職場体験  
くにみ元気祭り
- p. 3 呼気NO検査  
研修医セミナー開催
- p. 4 第47回元気セミナー  
第48回元気セミナー  
編集後記


 公立  
 藤田総合  
 病院

## 理念・基本方針

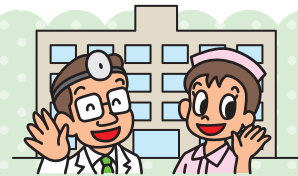
### 私たちは、患者さん中心の医療を行います

- ◆私たちは、地域社会との連携を図りながら、地域の人々の医療・保健・福祉の向上に貢献します。
- ◆私たちは、医療水準の向上に努め、患者さんに良質で安心できる医療を提供します。
- ◆私たちは、健全な経営に務め、活力に満ちた働きがいのある病院を目指します。

●紙面に掲載されている内容・写真等を目的外で使用したり、複製・印刷する事を禁止します。

## 伊達中学校

## 職場体験



当院では、将来医療職を志す学生さん方の体験を積極的に受け入れております。

今年も伊達中学校の「職場体験」として10名の生徒さんが体験に訪れてくださいました。

体験は病棟や手術室のほか各部署を回り、実際に病院での現場を体験することで医療の重要性や

大変さに理解を深め、より医療職への関心を高めた一日となったようです。初めて体験する医療職の現場に、小さな目がキラキラと輝いているのがとても印象的でした。

いつの日か、彼女たちが当院で白衣を着て働いてくれる日を楽しみにしております。

## 「職場体験」

伊達中学校 鈴木瑞梨さん

私はこの3日間、病院とはとても思いやりの深い場所だと思いました。なぜなら、どの職種の方も、全ては患者さんのために働いていると強く感じたからです。

病棟では、看護師の方について歩き、看護師の仕事を見学しました。そのなかで、退院する方に、今後のくすりの飲み方やとってはいけない体勢など、プリントを使って細かく説明する場面がありました。説明していた看護師の方に話を聞くと、患者さんが安心して退院できるよう、不安なことはきちんと聞いてあげることが大切だとおっしゃっていました。

栄養管理室では、病院内の食事について、とても気を遣っていました。例えば、食材は賞味期限の長いものを納品したり、時間や温度に気をつけたりして、患者さんに安全が保証されたものを口にしてもらうようにしていました。

また、病棟内の廊下などには、物が置かれていなく、患者さんが何にもぶつからないようになっていました。

私は、この職場体験に来るまでは、病院はただ病気を治す所、というイメージしかなかったのですが、病院の中には私の知らなかった職種もたくさんあり、今回の体験は私にとって将来を考えるとても貴重な時間になりました。

3日間、お世話になりました。ありがとうございました。



## くにみ元気祭り

7月23日(土)に観月台文化センターで開催された「くにみ元気祭り」に、当院から薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士が参加させていただき、簡易検査や相談を行いました。

ひとつ紹介させていただきますと、検査技師が簡易血糖測定と相談を行いました。簡易の血糖測定はすぐ結果がでるので、その場で血糖値を伝えることができます。血糖値は食事の影響を強く受けるため、食後の方や会場で配られていたヤクルトを飲んでから来られた方は高めに出てしまい判定には苦労したようです。

その中でも、実際に糖尿病を患って治療されている方もいらっしゃって、改めて検査の大切さを知ったようです。測定の後には地域の方々に「ありがとう。」と言ってもらい、とてもうれしかったとのこと。

町内でのイベントに参加させていただいたことで、地域の方々と触れ合えることができ、参加した職員はより一層地域に貢献したいという気持ちを高めたようです。



## 呼気NO検査

内科長 鈴木 修三



呼気NO検査は、吐いた息に含まれる一酸化窒素（NO）の濃度を測定する検査です。気管支喘息をはじめとするアレルギー性気道疾患では、その濃度が高値を示すことが報告されています。

気管支喘息に「診断基準」はなく、夜間や早朝におこる咳、喘鳴などの症状



や呼吸機能検査、アレルギー検査の結果で気管支喘息と診断していました。

呼気NO検査を組み合わせることで、気管支喘息に特徴的な「アレルギー性気道炎症」を捉え、より精度の高い診断が可能となりました。

患者さんには、検査技師さんの指示に従って息を吐いてもらうだけなので、苦痛はありません。呼気NO検査が導入され、より良い気管支喘息診療が可能となりました。

お気軽にご相談ください。

## Best Doctors<sup>®</sup> 仙台赤十字病院 三木 誠先生をお招きし、 研修医セミナーを開催しました！



平成28年6月27日(月)Best Doctors<sup>®</sup>仙台赤十字病院 三木誠先生をお招きし、研修医セミナーを開催しました。

膨大な数の医師に対して、「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、自分以外のどの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行い、一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors<sup>®</sup>）と認定する仕組みがあります。この度ご講演頂いた、仙台赤十字病院 三木誠先生は、そのベストドクターに選ばれた素晴らしい先生です。

演題は「感染症診療の秘訣～肺炎を究める～」。ご講演では、正常細菌叢の概念の復習からはじまり、肺炎を中心に類似疾患も交えてどういった診断アプローチをしていくか、治療方針をどう立てていくかを学

びました。「同一疾患でも示す症状、所見の組み合わせは患者の数だけあるため、「これだ」と思った瞬間から他の疾患の可能性を考えることをやめてはならない」というお言葉が当院の初期研修医の心に強く突き刺さったようでした。

当院では将来の福島県の医療を支える初期研修医の教育に力を注いでいます。今回のような「研修医セミナー」を定期的で開催し、初期研修医が立派な医師へと成長するよう当院は全力で指導していきます。



## 第47回 元気セミナー



5月26日にホールシャングリラにおいて、近藤祐一郎副院長による「肝臓の病気～あなたの肝臓大丈夫ですか？～」が開催されました。

肝臓の病気には急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌などがあり、その一つ一つが単独の疾患ではなく、状態が悪くなって行くにつれて発症するもので、大事に至る前に肝機能を改善させることがとても大事だとのことでした。

肝疾患の大きな原因としては

- ① 肝炎ウイルス（A、B、C、D、E型） ② アルコール  
③ 糖尿病（肥満、過食） ④ 薬剤、栄養剤摂取

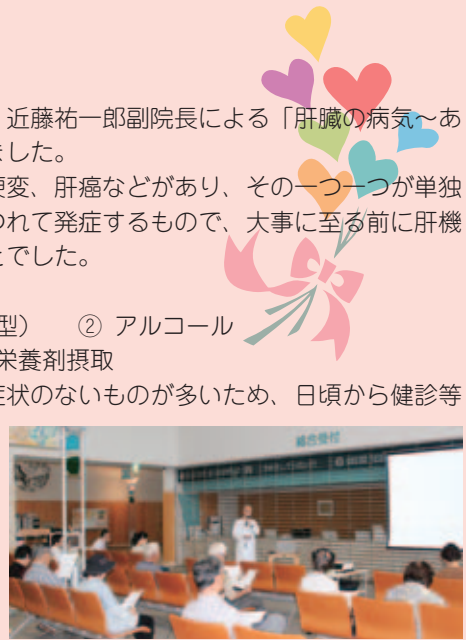
などがあること、また肝疾患の多くは自覚症状のないものが多いため、日頃から健診等での健康管理が重要とのことでした。

皆さんの中にも「休肝日」を設けている

方がいると思いますが、お気を付け下さい。

休肝日とは現在はまだ肝臓の正常な方が将来肝臓を悪くしないように肝臓を休めるための日のことであり、既に肝機能にある程度の異常がある方は禁酒が必須だそうです。

残念ながらB型、C型肝炎になってしまった場合は保健所への申請により医療費助成を受けながら治療することも出来るそうですので消化器科医師にご相談下さい。



## 第48回 元気セミナー



7月21日にホールシャングリラにおいて、伊藤理先生による「高齢者に増えている結核症～早期発見は可能か？～」が開催されました。

結核というと「ん？いつの時代の病気？」と思う方も多いと思います。若い時に感染してしまっていた方々が、高齢になり免疫力の低下などで発症している現状があります。今回のセミナーでは、結核は昔の病気ではなく現在も続き、集団感染のおそれもある怖い病気であるとお話を頂きました。

ただし、有効な結核治療法が確立され、結核患者の全体数は年々減少し、感染と発症の割合をみると、感染していても9割の方が発症していません。しかし、高齢者や糖尿病、腎臓病などを疾患し免疫力が低下している方の約1割が発症しているとのことでした。

また、結核は進行がとても遅い傾向があります。特に高齢者は咳や痰などの典型的な症状が出にくく、一般的な食欲低下

や微熱の症状が多いために発見が難しいと言われていています。患者さん自身も診察時に、結核疑いの相談を自らすることも有効なことだとお話がありました。

私たちの周りに結核菌が全くないとは言えません、ご自身やご家族の中に長引く咳や痰からみが多い方がもしいましたら、安心するためにも一度受診してみてくださいはいかがでしょう？



次の元気セミナーは 11月24日(木) 午後4時 主任薬剤師 齊藤直美  
「お薬の問題Q & A～よくある疑問や今更聞きにくいことなどをお話します～」  
を開催予定しています。



編

集

後

記

藤田病院だより第53号をお届けいたします。今号でご紹介させていただきました「中学生職場体験」の受け入れや「くにも元気祭り」など地域行事への参加、地域の皆様の健康増進を目的とした「元気セミナー」の開催など、当院では日々の診療だけでなく、地域の皆様との関わりを大切にしております。今後も地域に密着した病院を目指していきます。

広報メディアプラン策定委員会